

令和の時代のスタートにあたって

校長 奥脇 裕子



清川村の山々は春の装いをまとい、美しい姿を現しています。正門前の桜は昨年と異なり、今なお、花びらを大きく広げ、見る人の心を癒してくれます。

今年度も、緑中学校長としての任を受けました奥脇裕子と申します。昨年度も保護者の皆様、地域の皆様には多くのご支援ご協力を賜りました。改めて御礼申し上げます。引き続き、学校、家庭、地域の連携に努め、地域に開かれた学校経営を進めてまいります。今年度もどうぞよろしくお願いいたします。

4月1日に新元号「令和」が発表されました。涼やかで美しい響きをもつ新たな元号は、新しい時代の明るい未来も照らし出されているように感じます。その時代の幕開けとなる今年度は、これまで築き上げてきた本校の伝統と時代に即した学校教育の基盤づくりを礎とし、保護者の皆様、地域の皆様の声を吸い上げながら、より良い学校づくりを全職員で取り組んでまいります。

本校の学校教育目標は次の通りです。平成24年度に改定してから毎年、成果や課題の確認と改善に努め、全職員で目標の達成に向けて実践を重ねております。今年度も、チーム力を高め、気持ちを一つにして取り組んでまいります。

学校教育目標

「誠」：誠実に学び、高い志を持った生徒を育てる

「朗」：共に支え合う、清らかで人間性豊かな生徒を育てる

「韌」：未来を切り拓く、しなやかでたくましい心と体を育てる

今年度のスタートに当たり、生徒たちには三つの願いを託しました。

一つめは自己肯定感とともに他者への思いやりの心を育むこと、二つめは困難に負けないしなやかでたくましい心と体を育むこと、そして三つめは、清川村の一員として、この美しい地域を守り育ててほしいこと、この三点です。これは、そのまま大人社会で生きる私たち教職員にも言えることだと思っています。生徒たちと共に日々の生活を通して多くのことを吸収し、令和元年にふさわしい学校教育を進めていきたいと思っております。お力添え等よろしくお願いいたします。

